

かわごえ文化財通信



創刊号

川越市文化財保護課
編集・発行

発行日
令和4年1月

この通信では、文化財保存活用地域計画策定事業や、新たな調査でわかったことなどを発信します。

文化財保存活用地域計画とは

川越の歴史を2日で知る「みんなの文化財」講座報告

川越城の北門跡発見報告



川越市のマスコットキャラクターときも

文化財保存活用地域計画とは

この度、文化財保護課から”かわごえ文化財通信”を発行することとなりました。

この通信は、川越市文化財保存活用地域計画について、市民の皆さまへ知ってもらうことを目的とした広報紙です。

川越市では令和5年度中に、この計画を策定し、文化庁から認定を受けることを目指しています。

「文化財保存活用地域計画（以下”地域計画”）」とは、平成31年4月に施行された改正文化財保護法により制度化されたものです。

これは、市町村が作成する地域における文化財の保存・活用に関する総合的な計画です。

地域計画の背景

なぜ今、地域計画を作る必要があるのでしょうか？

現在、多くの歴史遺産（＝未指定文化財も含めた文化財）が消滅の危機に瀕しています。

① 人的な問題

後継者、環境保全（清掃等）、人口減少による人手不足

② 金銭的な問題

所有者や公共団体の補助のみでは難しい修理・維持資金

③ 環境的な問題

歴史遺産をとりまく景観の変化

これまでのように、国や地方公共団体で指定した文化財を個別に保存する方法だけでは、このような問題に対し対応が不十分です。そのため、新しいしくみを作る必要があります。

地域計画の特徴

地域計画には次の特徴があります。

川越市は、この特徴をふまえ、計画を策定していきます。



継続的・一貫性

地域の歴史文化の特性に基づき、歴史遺産の保存・活用のための目標や具体的な事業案を定め、計画的に取り組みを進めます。



総合的・一体的（関連文化財群）

関連性のあるテーマで個別の歴史遺産を相互に結び付け、分かりやすいストーリーと共に紹介することで、歴史遺産が持つ様々な価値や魅力を明らかにします。



地域総がかり

所有者・住民・民間団体・行政など地域全体で歴史遺産を守り、次世代に繋げる体制の構築を図ります。

今後、この通信で地域計画の進捗や、調査で分かったことなどを発信していきます。

現行の体制

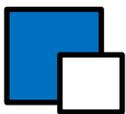
指定・登録等に係る文化財を個別に保存・活用



地域計画を策定した後の体制

未指定文化財も含めた地域の文化財の総合的・一体的な保存・活用





川越の歴史と文化財を2日で知る「みんなの文化財」講座報告



令和3年10月7日・21日に北公民館で「みんなの文化財」講座を開催いたしました。

この講座は、地域計画の一環として2つの目的のために企画しました。1つ目は、川越市の歴史と文化財を知ってもらうことです。2つ目は、川越市の歴史文化の特性(=川越らしさ)とは何か、市民の皆さまと一緒に考えていくきっかけにすることです。

講座では、2日間で川越市の歴史と文化財を、縄文から近代まで、駆け足で学びました。

受講者の方はメモを取りながら熱心に聞いてくださり、もっと詳しく聞きたい、などのお声を多数いただきました。御参加ありがとうございます。

講座の内容

今回の講座は大きく5つの分野に分け、当課職員3人が講師となり実施しました。

【10月7日】

- ①古代から中世(鎌倉時代)までの歴史
山王塚古墳、河越館跡 等
- ②江戸時代の文化財
喜多院、川越城 等

【10月21日】

- ③明治時代以降の文化財
川越大火、蔵造り、時の鐘 等
- ④文化財保存活用地域計画
川越市の歴史遺産の特徴 等
- ⑤川越の民俗文化財
川越氷川祭の山車行事、獅子舞、絵馬 等

この講座に参加された方に「川越市」という言葉のイメージを伺いました。

すると、時の鐘、蔵づくり、川越城を挙げられる方が多くいらっしゃいました。このことから、江戸から明治時代のイメージを、とくに強くお持ちであることがわかりました。

本講座を受けたことにより、川越市には、江戸から明治時代だけでなく、魅力的な時代や行事があることを知る機会になれば幸いです。

これからも、このような講座を各地域で開催していきます。皆さまのお近くで行われる際には、ぜひご参加ください。



川越城の北門跡発見報告



北門の支柱穴(西側)と考えられる掘り込みとその最下部に重ねられた瓦



川越城の往時の姿を復元する目的で、北門の正確な位置を調査しました。現存する絵図と現代の地

図を照らし合わせ、調査ポイントを決めたことにより、川越城北門の柱跡を3つ発見しました。

この紙面は川越市ホームページでもご覧になれます。

かわごえ文化財通信

検索